

魚沼民商だより

2017年
5月 8日
第205号

発行 新潟県魚沼市板木
電話 025 (792) 3064
e-mail:umisyo@rose.ocn.ne.jp

塙沢・経営と暮らし交流会を開きました！

塙沢支部は、4月20日、石打公民館にて、「経営と暮らし交流会」に5名が参加しました。

この交流会は「田舎の経営と暮らし、そして健康の向上を図るために自主記帳・自主計算活動がとても大切。例えば『平成28年分の売上金額が500万円で所得金額が50万円とします』。これで1年間生活できますか。経営が上手くいっていますか。まず経営分析（見直し）が必要だよね」から役員が企画し運営しました。

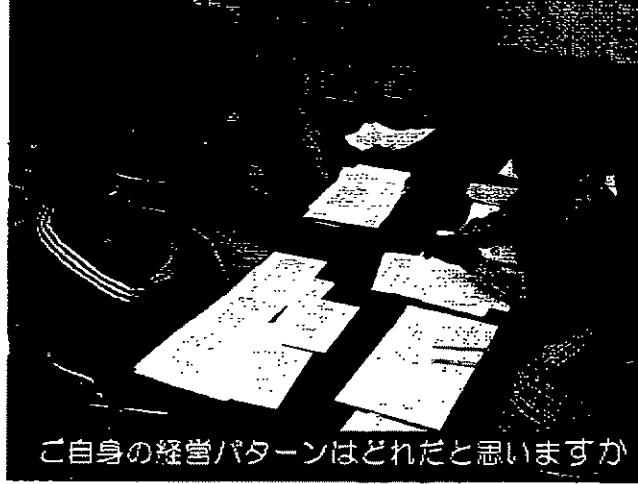
中沢支部長（副会長）が「シユミレーション」（※収支内訳書5パターン）を用意し、「月額の事業収支表と家計表」（※自主計算パンフに掲載）も用いながら、参加者の懐に思いきり踏み込んだ、熱い意見交流の場となりました。

特に「この簡単箇で利益はどのくらいなの」、「売上金額の25～30%くらいの利益が必要だよね」「減価償却費の計上をどう見てますか」「「メの仕入で農業と商業についてどう整合性を図っていますか」等が強調されていました。そしていつも大きな話題となつたのは、「簡単書き上げ」の判断でした。

「経営力アップ交流会」を開催決定！

4月12日、三条市メッセビアにて、県連と県青協の共催で「経営力アップ」交流会（仮）準備会が開かれ、魚沼から今井常任理事と事務局員が参加してきました。

この日、村上・阿賀野・新津・新潟・三条・長岡・上越の民商が参加し、「興業種で商売の情報交



参加者からは、「大胆な指摘でとてもショックキングだったけど、皆さんの話しかり、自らの経営を客観的に見ることができた。参加してよかったです」と感想が寄せられました。

全商連地方別活動交流会（5月20日）に向けて！



5月に開催される「全商連地方別活動交流会」成功に向け、いますべての支部が、「全商連第52回総会」時現勢の回復・突破をめざしています。

塙沢支部は、3月30日の拡大行動に4名が参加し、全国商工新聞を増やしています。

六日町支部は、4月20日の拡大行動に5名が参加し、全国商工新聞読者3名、共済会員1名を増やしています。また25日に今井支部長が新規開業者（自動車整備業）と一緒に民商事務所に訪れ、民商入会し、青年部も同時入部しました。

さて、この交流会には六日町の高橋会長はじめ、岡村副会長（大和）、鈴鹿副会長（小千谷）、中沢副会長（塙沢）、横山婦人部長（小出）らが参加してきます。

元気にしてます。

を増やしましょう。

4月の相談、こんな相談がありました！

※ 贈与税。孫への教育資金はどうまで非課税なのか。

※ 建設業の許可を取得したい。

※ 法人設立のメリットは何か。

※ 青色申告の特典は。

市の物品納入入札に参加した

い。

※ 贈与税。孫への教育資金はどうまで非課税なのか。

※ 入院見舞金（5件）

※ 死亡弔慰金（1件）

（これから大型連休となるため、印刷・輸送事情により5月1日号は休刊となります。）

※ 入院見舞金（5件）

※ 死亡弔慰金（1件）